

**令和6年度**  
**町内会・自治会に関するアンケート調査について**  
**(結果・ダイジェスト版)**

令和7年11月

市民環境部市民生活課

## アンケートの概要

### 【目的】

地域コミュニティの中核を担う町内会・自治会の現状と課題を把握し、地域のまちづくり活動が一層活発になるための今後の施策づくりの参考とする。

### 【調査項目】

- I 町内会・自治会の概要について（総会、組織、集会所、報酬）
- II 町内会・自治会の活動について（活動内容、運営課題、回覧板、デジタル化、加入促進の取組み、担い手等）
- III 市などとの関係について（市などからの依頼事項に対する負担感、受信媒体）
- IV 会長ご自身について

### 【アンケート受付期間】

令和6年8月14日 ～ 令和6年10月15日

### 【アンケート送付先】

単位町内会・自治会の会長 153団体

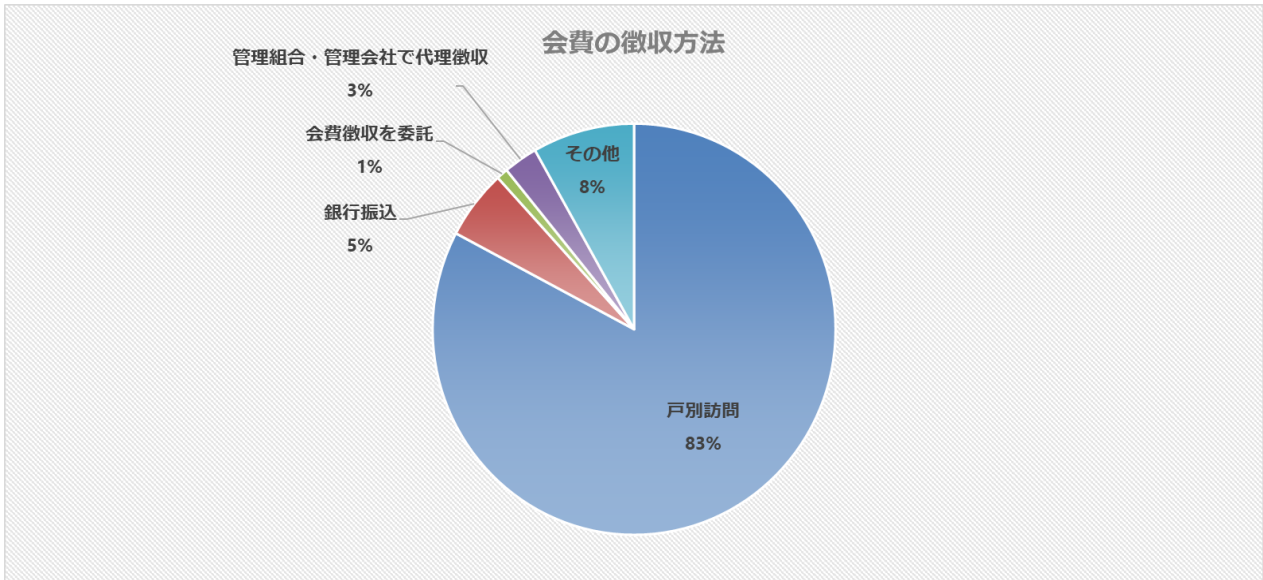
### 【回収率】

71%（104団体／153団体）

## I 町内会・自治会の概要について

【問】会費の徴収方法

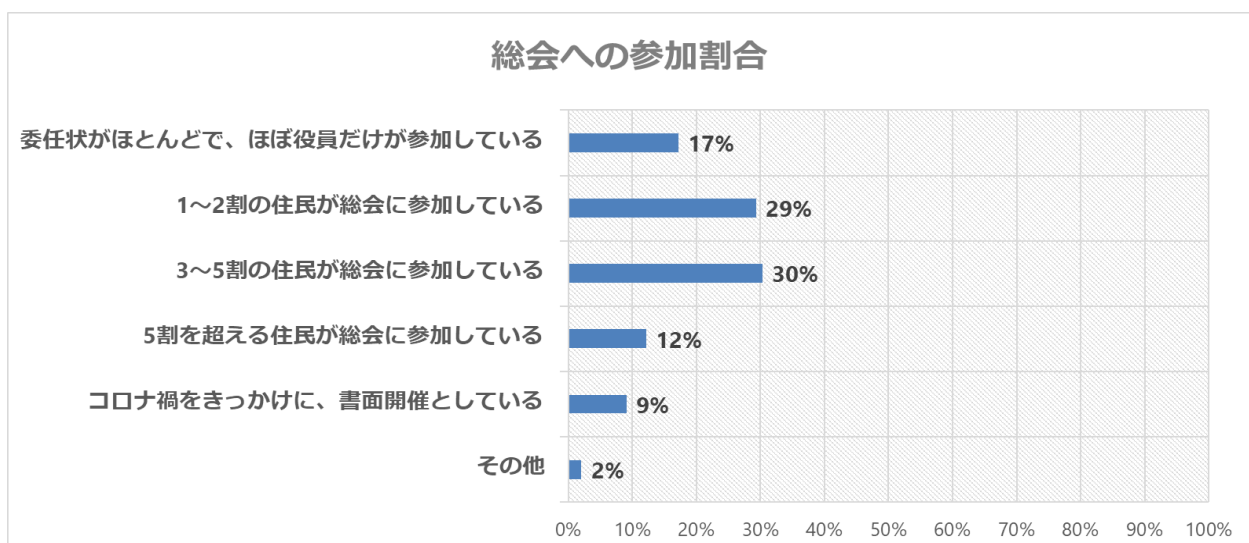
【結果】「戸別訪問」が最も多かったです。



## II 町内会・自治会の活動について

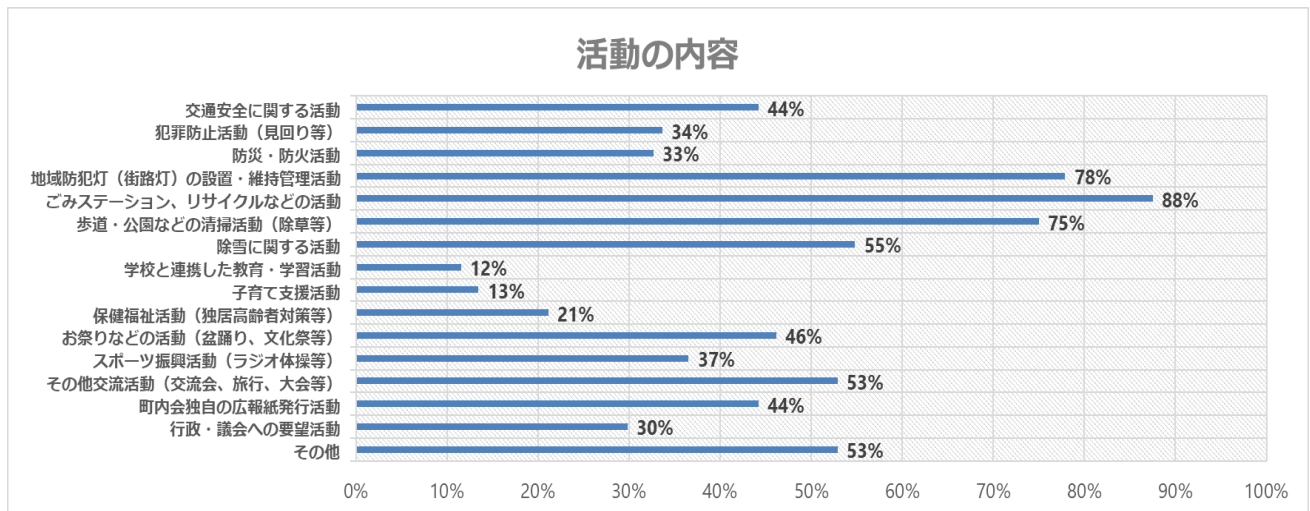
【問】総会への参加割合

【結果】「3～5割の住民が総会に参加している」が最も多かったです。



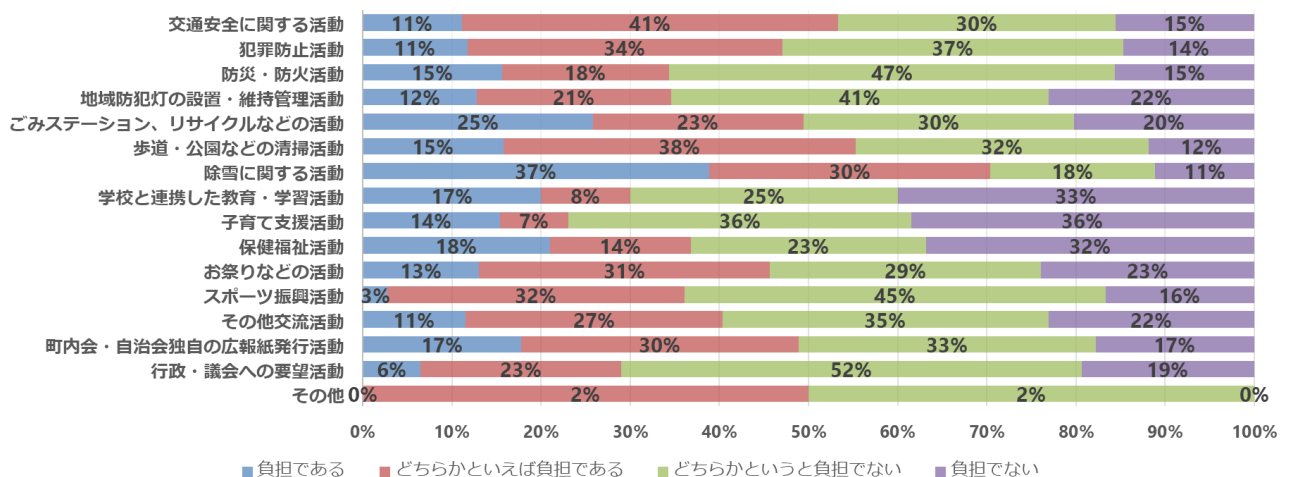
【問】活動の内容（複数回答）

【結果】「ごみステーション、リサイクルなどの活動」が最も多かったです。



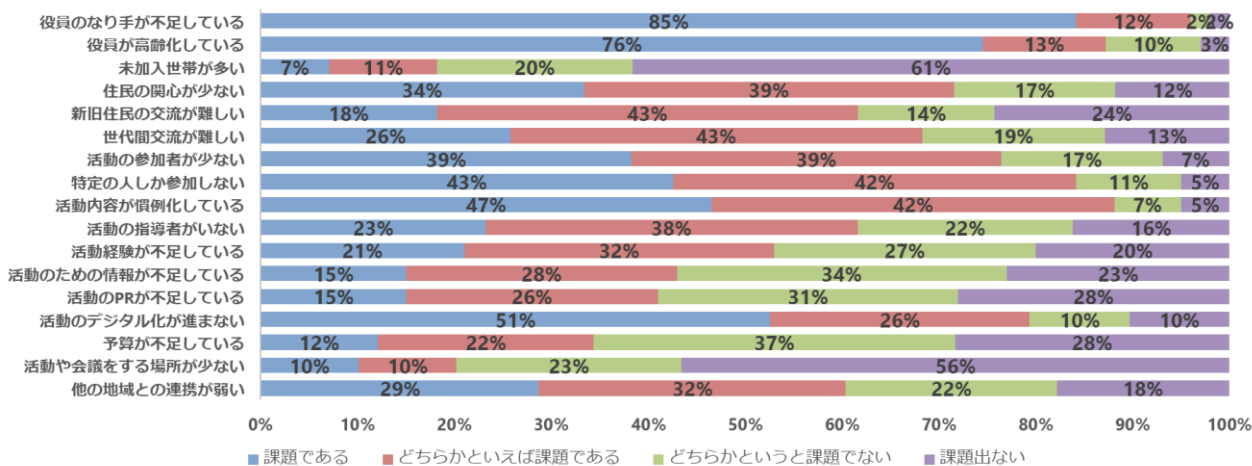
【問】活動の負担について

【結果】「負担である」「どちらかといえば負担である」の回答が最も多いのは、「除雪に関する活動」でした。



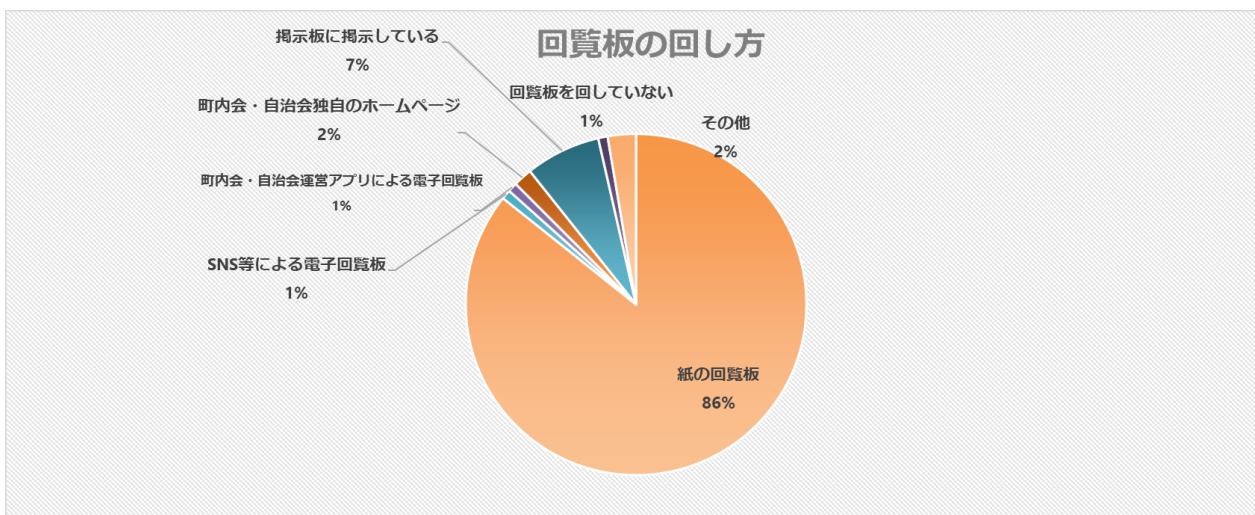
【問】活動の課題について

【結果】「課題である」「どちらかといえば課題である」の回答が最も多いのは「役員のなり手不足」でした。



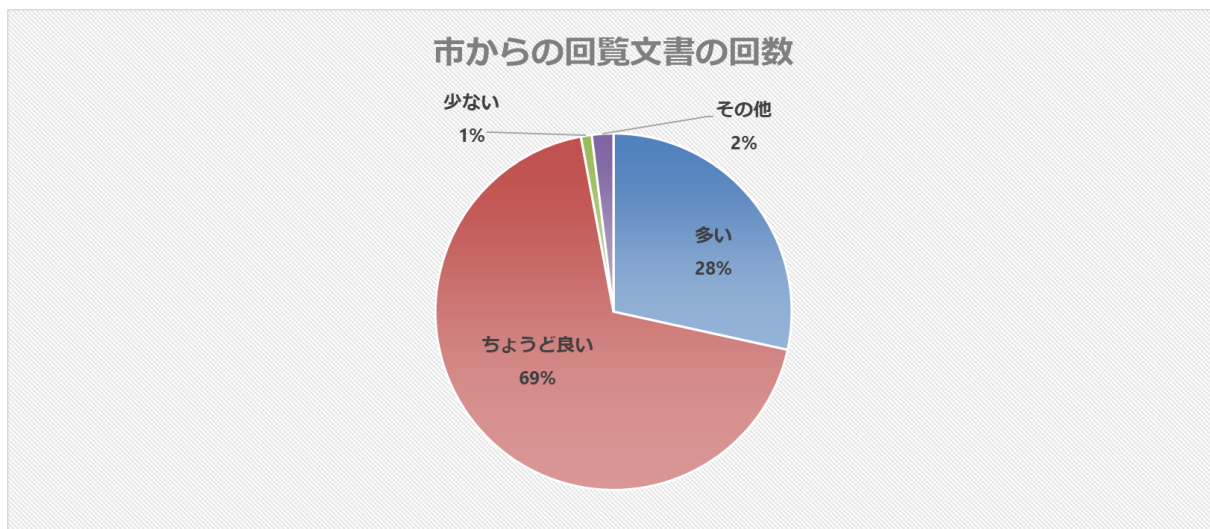
【問】回覧板の回し方（複数回答）

【結果】「紙の回覧板」が最も多く、使用している SNS の種類はインスタグラム、フェイスブックとなっています。



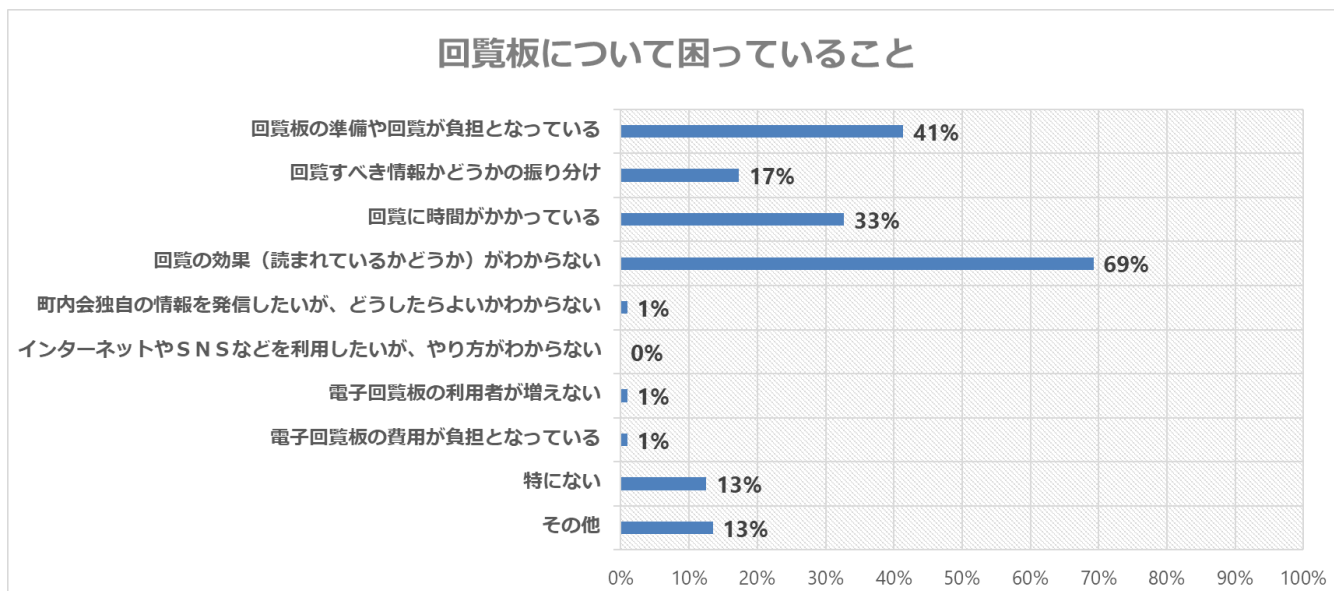
【問】 回覧文書の回数について

【結果】 月2回の回覧文書について「ちょうど良い」が最も多かったです。



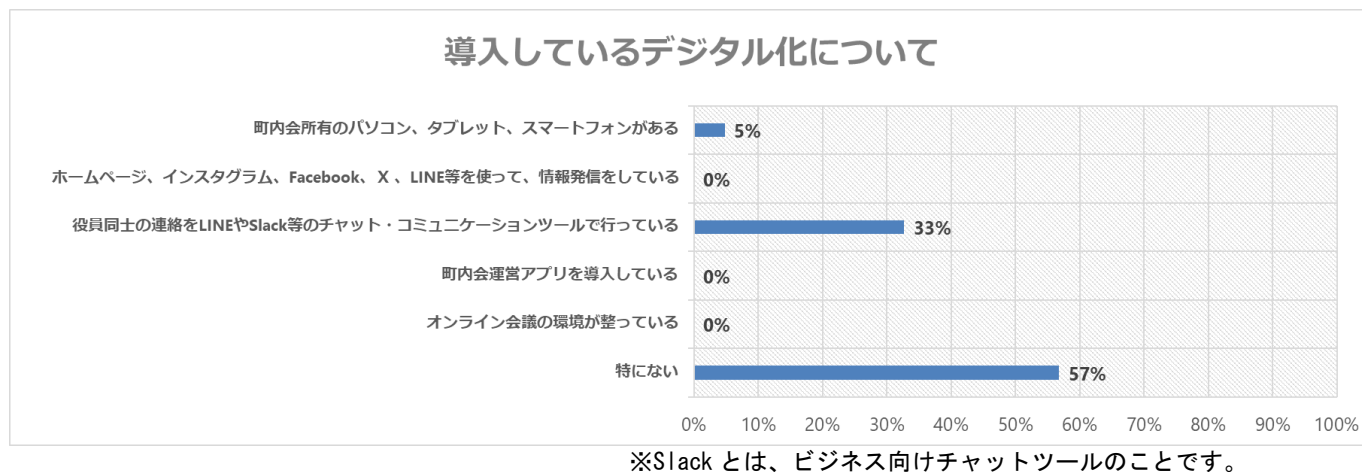
【問】 回覧板について困っていること（複数回答）

【結果】 「回覧の効果がわからない」が最も多かったです。



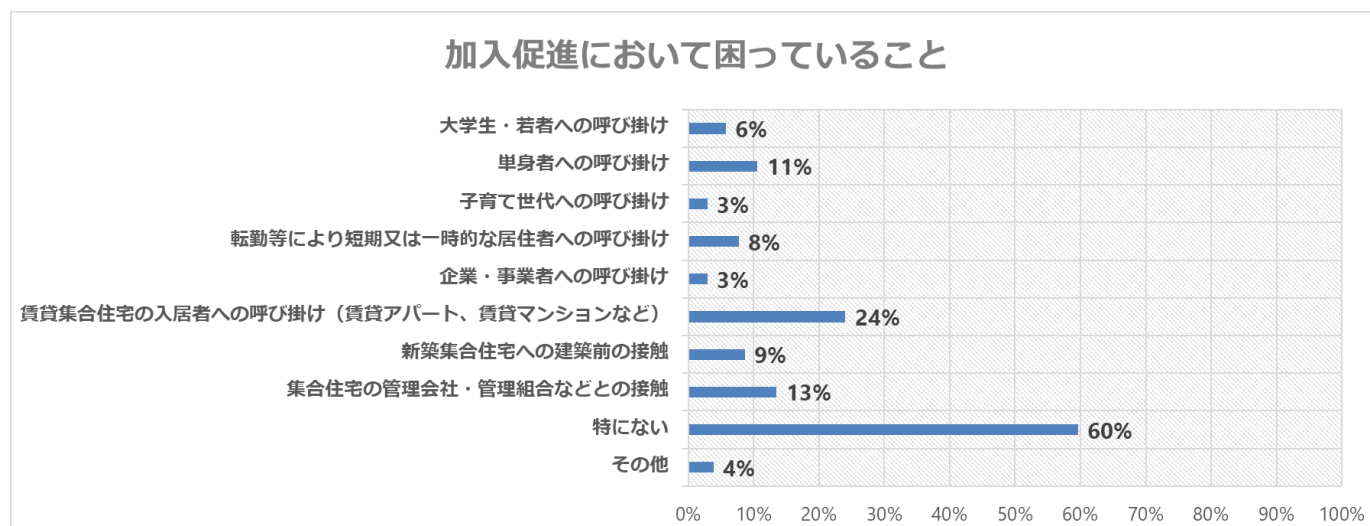
【問】 導入しているデジタル化について（複数回答）

【結果】「特にない」が最も多かったです。次いで「役員同士の連絡をLINE や Slack<sup>※</sup>等のチャット・コミュニケーションツールで行っている」となっています。 ※Slack とは、ビジネス向けチャットツールのことです。



【問】 加入促進において困っていること（複数回答）

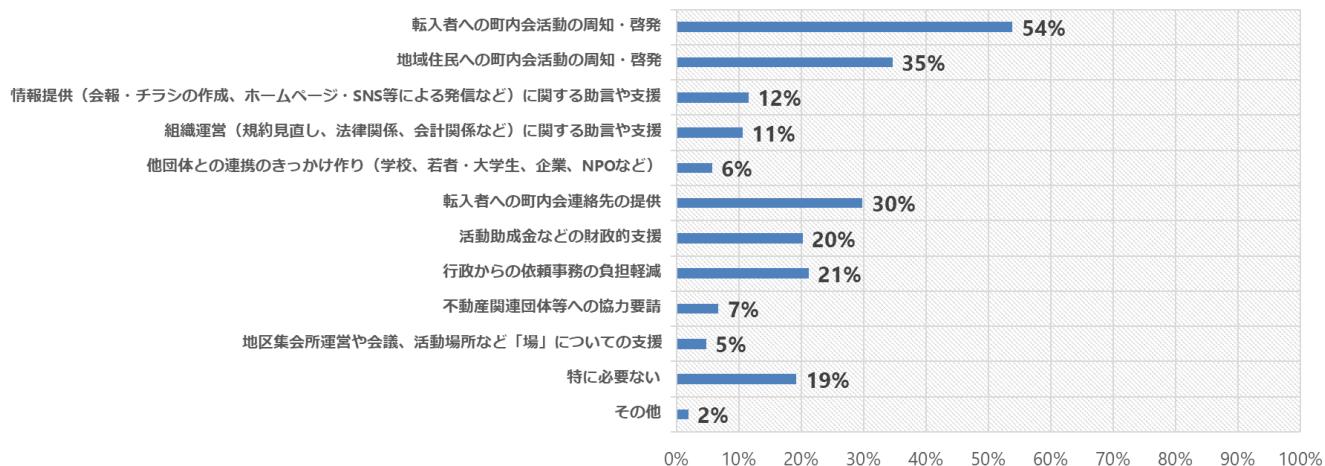
【結果】「特にない」が最も多く、次いで「賃貸集合住宅の入居者への呼び掛け」となっています。



【問】活動の活性化や加入促進に向けて必要な支援（複数回答）

【結果】「転入者への町内会・自治会活動の周知・啓発」が最も多かったです。

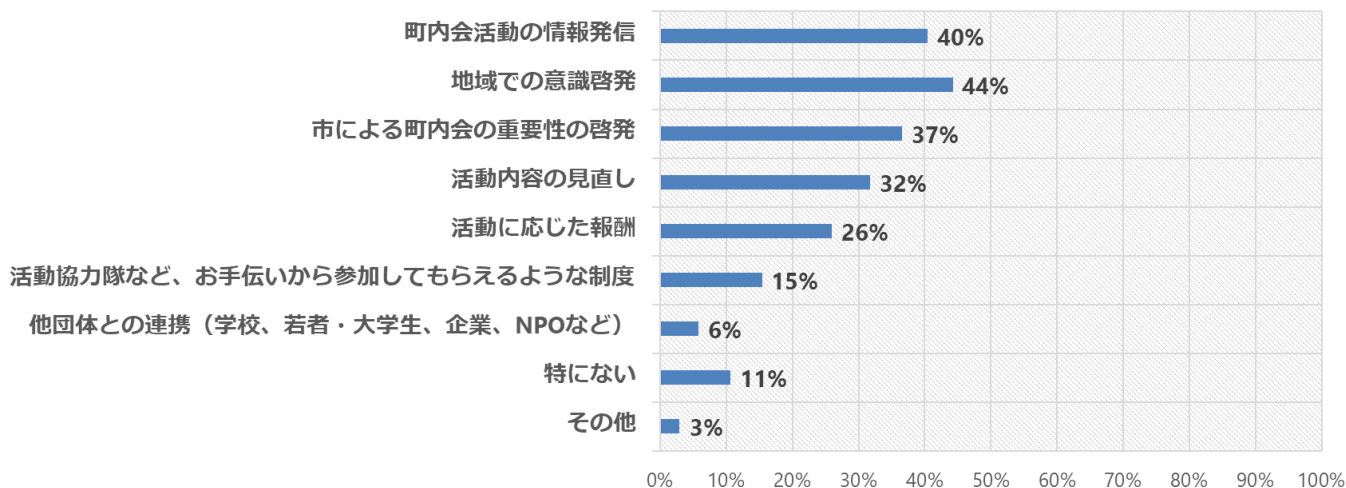
### 活動の活性化や加入促進に向けて必要な支援



【問】活動の担い手を確保するために必要だと思うこと（複数回答）

【結果】「地域での意識啓発」が最も多かったです。

### 活動の担い手を確保するために必要だと思うこと

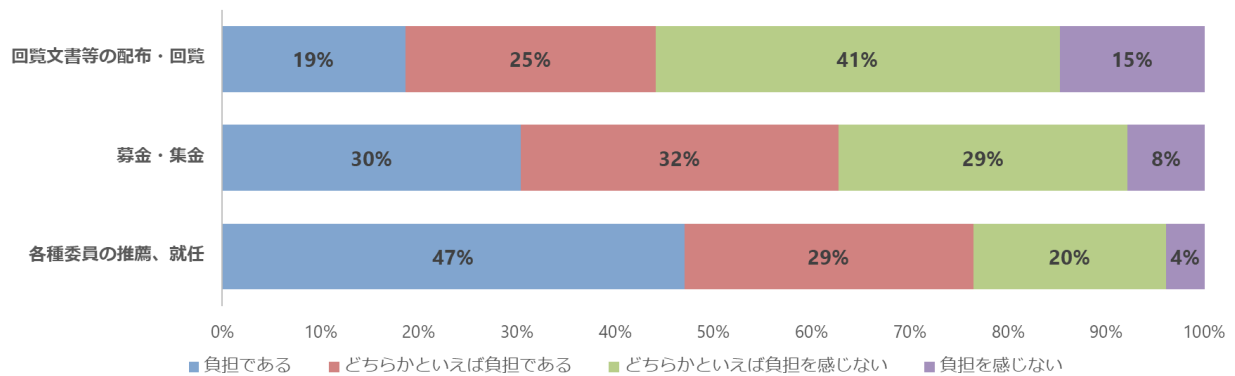


### Ⅲ 市などとの関係について

【問】市や社会福祉協議会の依頼事項についてどのように感じていますか

【結果】「負担である」「どちらかといえば負担である」の回答が最も多いのは、「各種委員の推薦・就任」となっています。

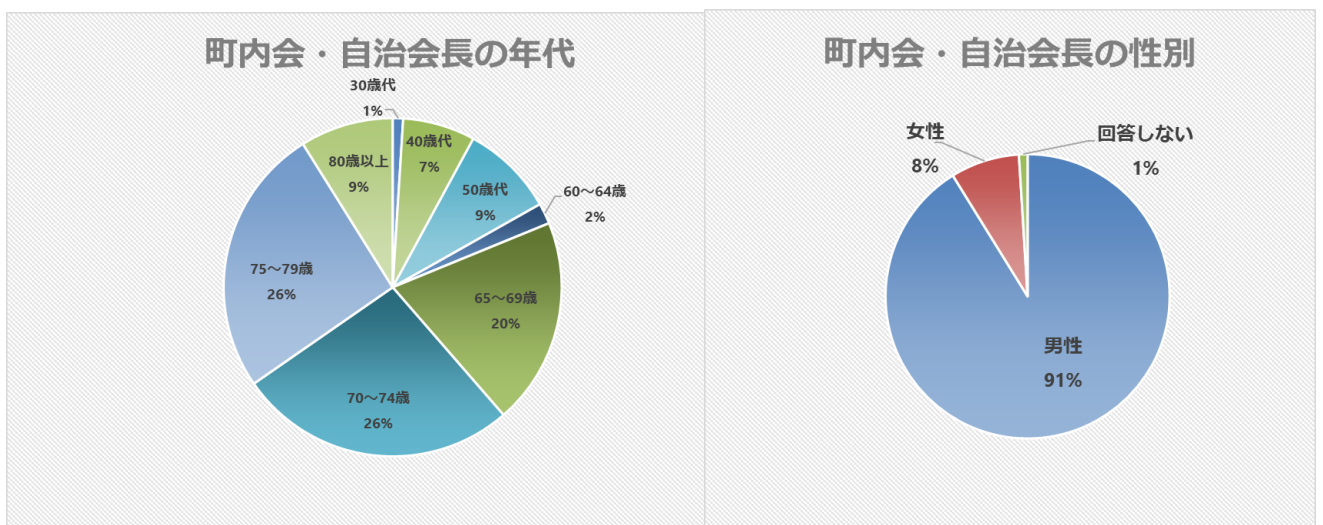
市や社会福祉協議会からの依頼事項に対する負担感



### Ⅳ 会長ご自身について

【問】会長の年代・性別について

【結果】「70～74歳」が最も多く、次いで「75～80歳」となっています。また、性別は「男性」が91%となっています。



【問】 会長職の着任年数・選出方法

【結果】 着任年数は「1年未満」が最も多かったです。また、選出方法は「相談による互選」が最も多かったです。

